



<http://www.yakushin.jp>

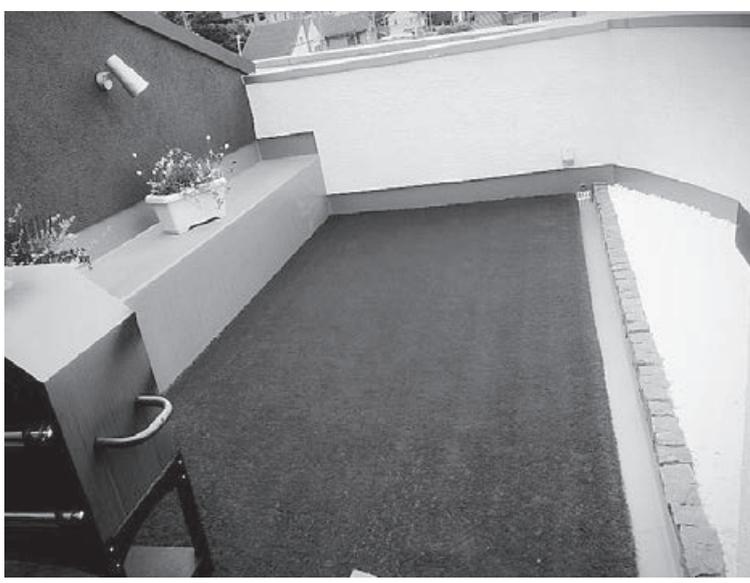


躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

- ②面 防水・塗装の劣化・損傷も気付いたら即再施工!
- ③面 エレガンストーンと遮熱塗料の最強タッグ
- ④面 住宅消費税対策、需要の平準化へ「十分な対策」

発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川106-1
☎048-688-3388
☎048-680-7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井輝夫
頒価：216円(送料込み)



夏の定番商品として注目! 人工芝と遮熱塗料で猛暑対策

もうすっかり躍進の夏も荒れることもなく景観も維持されます。耐久人工芝。バルコニーの緑、性も風合いも優れたものが数多くラインナップされています。脱却した高級感溢れる品質が大いに注目されてきました。

天然芝は、目土(めつち)をはじめ、肥料、芝刈り、養生等極めて多くの手間がかかり、素人には管理がなかなか難しいものです。しかし、人工芝はお手入れがほぼ不要。放置し

ても荒れることもなく景観も維持されます。耐久人工芝。バルコニーの緑、性も風合いも優れたものが数多くラインナップされています。脱却した高級感溢れる品質が大いに注目されてきました。現在、遮熱塗料と合わせてのご注文、お問い合わせが多数寄せられています。不明な点は躍進までお気軽にお尋ねください。ご連絡をお待ちしております。

早いもので、平成三十年も折り返し地点を過ぎ、下半期がスタートしました。年頭に掲げた目標の進捗はいかがでしょうか。

松下幸之助翁は、成功する人は成功するまで諦めないで、どんな困難をも乗り越え成功するまでやりきるから成功すると喝破されております。まさしく、単純にして極めてシンプルな真理です。

また、幸之助翁は「素直な心」を最も大切にされてきました。

素直と言うと、おとなしく、何でも人の言うことをよく聞くことだと解釈される場合もありますが、幸之助翁の「素直な心」は、利害や感情、知識や先入観など、あらゆるものにとらわれず、物事をありのままに見る心のことです。

「素直な心」になれば、物事の実相が見え、何を成さねばならぬかが見えます。

分かるようになり、どんな情勢の変化にも柔軟に対応できるようにする必要があります。我々も年齢を問わず若老男女を問わず、最高「素直な心」で、最高の価値創造人生を歩んでいきたいものです。そして「素直な心」は、健康長寿の基本と言っても過言ではありません。病は気からと言われるように、健全な心のあり方が健康長

に、住まいも定期健診する必要がありません。不具合を早期に発見して修繕することが、長寿命住宅への第一歩となります。

まずは、住まわれている方に問診し、気になることや不具合等の不安要素を聞き出し、そして、①床下環境 ②屋根裏・壁内 ③トイレ・洗面・浴室・キッチン ④外壁・屋根などの重要箇所を点検して



羅針盤
代表取締役 笠井輝夫

いままや人生一〇〇年時代と言われるほど、健康寿命が実現していきます。それには、定期健診により病を早期発見し治療することにとどまらず、生活習慣を改め健康を増進することが重要となります。

人生が一〇〇年時代なら、住宅も一〇〇年以上住める、長寿命住宅でなければなりません。そして、人間同様に、住まいに存じます。

豊かで快適な生活の実現には、住み継ぐ家の健全性をいかに確保するかということが求められます。

それは、住まいの点検・診断からリノベーションを手がけるハウスメイカーさま、建築会社さまのお力なしには実現できません。そんなみなさまのお手伝いを躍進にお任せいただけます。

床下点検は
オールシーズン
実施しましょう!

防水・塗装の劣化・損傷も 気付いたら即再施工!

地場の工務店さま、ビルダーさまとともに、健康で快適な住環境づくりに邁進する「地域のホームドクター」躍進は、その主要事業である防水、木材保存、塗装工事をもつて、長持ちする住環境、生活の舞台づくりを担っております。

怠ると、防水効果が薄れていくこともあります。日常生活での履物によるトップコートの損傷だけでなく、ドレン部分の詰まりによるオーバーフローなどには、適切な対策が必要です。

定期的な床下点検と防水・塗装の再施工こそが住宅を長持ちさせる秘訣

防水層や塗装面は、日常生活の摩擦や衝撃でどんどん劣化していきます。躍進のコアコンピタンスであるFRP防水の保証期間は10年ですが、防水層を保護するトップコートの塗り直しなどを

躍進は、春季より床下点検のキャンペーンをスタートさせていますが、点検はお気づきのときにオールシーズンいつでも実施してください。そして、外壁の劣化・損傷を発見したらすぐに再施工してください。それが住宅を長持ちさせる最良の秘訣なのです。

塗り替えサインに 要注意

外壁の塗り替え時を示す

塗装サンプルを曲げてても(写真左および下)一切クラックが入らない優れた弾性を誇る。

- ① 外壁を手でこすると手に粉が付いてくる。
- ② 外壁の汚れが目立つ。
- ③ 塗膜が剥がれている。
- ④ 外壁にひび割れが入っている。

もしこれらの症状が一つでもあてはまったら、外壁の再施工では、高弾性のつや消し塗料としてすつかりおなじみとなった『ビュークリナーオール』(写真左中三枚参照)をお薦めしております。柔らかいのに汚れにくく、塗膜表層にナノビーズが配列され汚れをガード。さらに表層はラジカル架橋によって汚れを跳ね返す強靱な鏡となっており、トップコートが不要なのです。

台風・ゲリラ豪雨のシーズンが迫っています。いち早く防水や塗装の再施工を行えば、家の寿命と資産価値はアップします。床下点検、防水・塗装は、躍進までご相談、ご依頼ください。お気軽にご連絡を。



FRP再施工

before

after

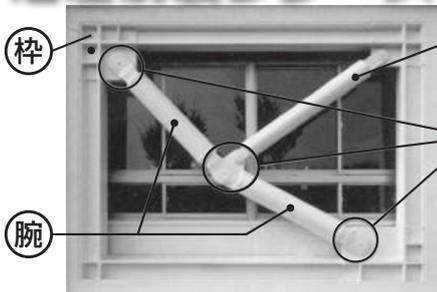
それは塗り替えの時期がきているサインです。

開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

ますます好評!

増幅機構付き トグル制震構法



オイルダンパー

日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)

強度に優れた鍛造品を使用しています。

鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。一般的に疲労度が大きい箇所や剛性が必要とされる部分に使われます。

鍛造品ではなく
鍛造品を使用!

お問い合わせは
躍進までお気軽に!
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

足場パックN(ネクスト)サマーキャンペーン

エレガンストーンと遮熱塗料の最強タッグが実現!



躍進では現在、リフォーム総合提案「足場パック」のビル、マンション等中高層建築物、集合住宅向けの塗装・防水ハイブリッド型新商品「足場パックN(ネクスト)」の、二五℃を分岐点に、入熱サマーキャンペーンを展開しております。

そして、このたび本誌一面でもご案内している夏季の定番商品の遮熱塗料と自然石調の装飾仕上塗料「エレガンストーン」を組み合わせ、夢の最強タッグを実現させました。省エネ機能を向上させることで、より資産価値アップさせます。

熱交換塗料の特徴は、二五℃を分岐点に、入熱をコントロールするところにあります。

塗面は熱を貯めにくい性質をもち、同時に高い耐久性を示します。気温が二五℃以上の場合、緩和反応を示します。

また、気温が二五℃を下回ると、熱収縮が始まり機能材の構造特性によって、室温低下を抑制します。

躍進本社の社屋・屋根において熱交換塗料を塗装し(左写真参照)、熱交換効果に関するデータも取得しています。

また、子供たちに熱交換塗料を塗布したエリアに立つてもらい、炎天下でも足裏が熱くならないことを示しました(中上写真参照)。

また、気温が二五℃を下回ると、熱収縮が始まり機能材の構造特性によって、室温低下を抑制します。

躍進本社の社屋・屋根において熱交換塗料を塗装し(左写真参照)、熱交換効果に関するデータも取得しています。

また、子供たちに熱交換塗料を塗布したエリアに立つてもらい、炎天下でも足裏が熱くならないことを示しました(中上写真参照)。

また、気温が二五℃を下回ると、熱収縮が始まり機能材の構造特性によって、室温低下を抑制します。

躍進本社の社屋・屋根において熱交換塗料を塗装し(左写真参照)、熱交換効果に関するデータも取得しています。

また、子供たちに熱交換塗料を塗布したエリアに立つてもらい、炎天下でも足裏が熱くならないことを示しました(中上写真参照)。



<http://yakushin.jp/interior-painting/>

【耐久性】
無機系素材の使用により、耐久性に優れます。

【超低汚染仕様】
超低汚染型のクリヤートップを施工することで、耐汚染性を向上させることができます。

本誌はモノクロ印刷ですので、色合いをはじめ、全体的な風合い、さらに施工手順は、左記のQRコードならびにURLでご確認ください。

【自然石風の高い意匠性が魅力】
家の外側は、既に好評をいただき、ご注文問い合わせを多数いただいている『エレガンストーン』を採用しました(右下写真参照)。

自然石の無機系素材がベースで、建物のエントランス部分に用いるだけでなく、戸建て住宅の外壁にも用いられています。自然の風合いを活かした意匠性を持ち、壁面を多彩に演出します。

主な特長は以下の通り。**【意匠性】**
豪華な自然石調の仕上がりが得られます。



また、「足場パックN ステム」の「床下三点セツ」(ネクスト)のテーマは、床下を健康管理し「家を内外から資産価値アップ!」するということでもあります。そのため、いまや「足場パック」を代表する目玉商品となった『飛騨炭』は、躍進までお気軽にみなさまのご連絡をお待ちしております。

また、「足場パックN ステム」の「床下三点セツ」(ネクスト)のテーマは、床下を健康管理し「家を内外から資産価値アップ!」するということでもあります。そのため、いまや「足場パック」を代表する目玉商品となった『飛騨炭』は、躍進までお気軽にみなさまのご連絡をお待ちしております。



床下用攪拌・換気システム

ニエース・新製品・政策・経営・インフラ・メンテナンス

住宅消費税対策、需要の平準化へ「十分な対策」政府方針原案

政府は六月五日、経済財政諮問会議(議長・安倍晋三首相)で「経済財政運営と改革の基本方針二〇一八」の原案を示した。

二〇一九年十月一日の消費税率引き上げによる需要変動を平準化するため、税率引上げ後の住宅の購入支援について、税

制・予算による十分な対策を具体的に検討する(とを明記しました。このほか、住宅関連では、既存住宅市場の活性化を進めることも盛り込みました。公的賃貸住宅を活用し、若者・子育て世代が安心して結婚・子育てしやすい住環境の整備や、高齢者らの住み替えへの支援などを一体的

大工の人数は2030年21万人に 野村総研が予測

野村総合研究所(東京都千代田区)は、大工の人数が2030年に21万になるとの予測を発表しました。大工の高齢化、産業間の人材獲得競争の激化などの影響により減少が進むとの見方を示しました。

同社は2030年の新設住宅着工を約60万戸と推測しており、大工1人あたり年2.9戸。今後は新設住宅着工戸数の減少幅を、大工の人数の減少幅が上回ることになり、生産性の向上が求められるとしています。

民泊制度に「賛成」6割超も 「利用したい」は4割に スマイスター調べ

不動産の比較査定サイト「スマイスター」を運営するリビング・テクノロジーズ(東京都中央区)は、6月15日の住宅宿泊事業法(民泊新法)施行に合わせて、「スマイスター」を利用した40歳以上の男女全国418人を対象に「民泊」についての調査を行いました。

民泊の利用経験が「ある」と答えたのは全体の4%で、「今後民泊を利用したいか?」という質問には、約6割が「したくない」と回答しました。

民泊について「知っている」と答えたのは46.7%で、認知度は半数以下という結果になりました。

年代別では、40代では40%、50代では45.5%、60代以上では54.7%が「知っている」と答え、年齢が上がるにつれ認知度が高くなるのがわかりました。

また、知っている民泊サイトについて聞いたところ、「なし」が85.4%となりました。

民泊制度についてどう思っているかという質問には、63%が「賛成」「どちらか」と賛成」と回答。特に60代以上では、69%が民泊制度に好意的でした。

賛成の理由としては、すべての年代で約6割が「空き家(空室)の活用ができる」点をあげています。以下、「宿泊施設不足の解消になる」「地域が活性化する」と続き、民泊を利用する外国人観光客が訪れることをメリットとしてとらえている人が多いことがうかがえる結果となりました。

一方、反対している人に理由を聞いたところ「犯罪に利用されたら困る」が最も多く、40代で57.5%、50代で60.9%、60代以上では69.6%となりました。

「機会があれば民泊を経営したいか?」という質問には、40代で22.8%、50代で24.8%、60代以上で14.9%が「経営したい」と回答。すでに経営している人も含めて、理由として最も多かったのは「空き家(空室)を活用できる」でした。

また「投資目的」をあげた人は、40代24.0%、50代34.0%だったのに対し、60代以上では4.4%にとどまっています。

回答者の内訳は、40代25.1%、50代39.5%、60代以上35.4%。

に進めるものです。空き家の利活用、住宅の良質化・省エネ化、リフォームの推進、不動産管理業の適正化も進めます。

「空き家所有者情報」市町村向けガイドラインを拡充 国交省

国土交通省は六月八日、官民連携による「空き家所有者情報」の活用を促進するため、先進事例を踏まえて市町村向けガイドラインを拡充しました。

拡充のポイントは、① 登録情報、水道閉栓情報、自治会等からの情報、死亡届等を例示、③京都市などの取組に加えて、厚

同省は今後、市町村と民間事業者等の連携による空き家の流通、利活用の更なる促進に向けて同ガイドラインの周知を図る予定です。

空家等対策計画の策定状況、二〇一八年度末に六割超見込み

国土交通省は六月十三日、空家等対策の推進に関する特別措置法(空家法)の施行状況等を公表しました。

まとめられたものです。空家等対策計画の策定状況は、「既に策定済み」の市区町村が約半数(四五%)の七七四団体、二〇一八年度末時点で「策定予定あり」の市区町村を合わせた六割超の一〇一団体となりました。

都道府県別の策定状況では、今回初めて策定済み市町村の割合が一〇〇%となった高知県をはじめ、富山県、滋賀県の順に策定済市区町村の割合が高くなりました。二〇一八年度末には、愛媛県、大分県でも全市町村が策定する見込みです。

株式会社 躍進

本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 電話 048-688-3388 FAX 048-680-7615 東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 電話 03-6804-2541 FAX 03-6804-2542 URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン

関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ

Table with 2 columns: 事業内容 (Business Content) and details of services like 防水工事 (Waterproofing), 木材保存工事 (Wood preservation), 塗装工事 (Painting), 外部点検 (External inspection).